

学位研究 第4号 平成8年3月 (研究ノート/資料)
〔学位授与機構研究紀要〕

中国における学位制度の現状と展望

The Present Situation and Future Perspective of Degree System in P. R. China

王 忠 烈

Written by Zhong-Lie WANG

苑 復 傑 訳

Transration from Chinese by Fu-Jie YUAN

黒 羽 亮 一 付記

Commentary by Ryoichi KUROHA

中国における学位制度の現状と展望

王 忠 烈*
苑 復 傑 訳**

「中華人民共和国学位条例」が1980年2月12日に中華人民共和国第5回全国人民代表大会常務委員会第13回会議において審議・承認され、1981年1月1日から施行に移された。1981年5月20日には、国務院が「中華人民共和国学位条例暫定実施方法」を認可した。「中華人民共和国学位条例」は中国教育制度に関する最初の立法であり、その公布は中国の教育と科学技術史においては、画期的なものであり、新中国（1949年以後の共産党現行政府を指す）の学位制度の成立を意味するものである。

1. 学位の構造、基準と授与方法

「中華人民共和国学位条例」及びその暫定実施方法に基づき、学位の種類は高等教育の段階に対応し、「学士」、「碩士」（修士）、「博士」の3段階とされている。すなわち、高等教育機関の本科卒業生（4年制の学部卒業生）に学士の学位を授与する。大学院碩士課程の修了者に碩士学位を授与し、大学院博士課程修了者に博士学位を授与する。中国では、1994年までに、1.8万人の博士、28万人の碩士、330万人の学士を養成し、それぞれの学位を授与した。

(1) 学士学位：

中国では、12年の大学前教育を修了した高校卒業生が国家統一試験を経て、大学に入学する。大学の本科教育の修学年限は一般的には、4年、一部の工科大学の一部の専攻は5年である。医科大学は5年もしくは6年である。本科卒業生として、学位条例に定められた基準に到達し、その専攻分野の基本理論、専門知識と基本技能を身につけ、また、科学研究、専門的技術業務に従事する初歩的な能力のある者に、学士学位が授与される。

学士学位は国務院学位委員会が授与権を認めた高等教育機関によって、授与されている。授与の方法としては、学士学位授与権が与えられている大学の学系は、本科卒業生の成績と「卒業鑑定」（卒業生に対する総合評価）などの資料を個々に審査し、学位条例の関係する要件に満たしている本科卒業生のリストを当該大学の学位評定委員会に提出する。当該大学の学位評定委員会の審査・認可を得て、学士学位が授与される。

* 中華人民共和国国務院学位委員会弁公室主任

**放送教育開発センター研究開発部助手

(2) 硕士学位：

学士学位の取得者、または同等の学力を持つ者が、試験によって、硕士学位の授与権のある高等教育機関、または科学研究機関に入学できる。2.5～3年間の学習を経て、硕士学位課程試験と論文審査（硕士学位論文はその研究課題に対して、新しい見解を有するべきである）に合格し、その専攻分野において、堅実な基礎理論と体系的な専門知識を身につけたことを表明し、科学研究に従事し、または独立に専門技術業務が担当できる能力を有する者に硕士学位が授与される。

硕士学位は国务院学位委員会によって、授与権が認められた大学或いは科学研究機関から授与される。授与の方法としては、硕士学位の申請者は学位授与機関によって規定された期間内に、学位授与機関に申請書と硕士学位の学術論文等の資料を提出する。学位授与機関は申請締め切り後の2ヶ月以内に、審査を行い、その申請を受理するかどうかを決定すると同時に、その結果を申請者に通知する。申請者はすべての硕士学位課程試験に合格した上で、学位授与機関が行われた関係学科、専攻の学位論文の面接審査試験に参加することができる。面接審査試験に合格した後通常、「学位評定分委員会」（学位評定小委員会）が審査を行ない、最後に学位評定委員会が審議した上で、学位の授与が決定される。

中国では硕士学位を独立の学位としている。碩士課程では単位取得のための勉強をするだけでなく、科学研究に従事し、学位論文を書くことを要件としている。これは硕士学位を学位取得のプロセスとしてみなしている国と比較すると、就学年限は比較的長く、学術水準に関する要求も比較的高い。大学院教育の発展に伴って、修士レベルの大学院教育は経済建設のために、応用的な人材、「複合的」（総合的）な人材を養成しなければならず、硕士学位の規格も次第に調整されていくべきであろう。

(3) 博士学位：

硕士学位の取得者、または同等の学力をもつ者が試験によって、博士学位授与権の認められた大学院または科学研究機関に入学する。3年間の勉強を経て、博士学位課程試験と論文の審査に合格し、その専門学科において、堅実で、幅広い基礎理論と体系的な専門知識を身につけ、独立に科学研究に従事する能力を備え、科学研究、または専門技術活動において、創造的成果を遂げた者には博士学位が授与される。

博士学位は国务院学位委員会によって授与権が認定された大学あるいは科学研究機関から授与される。その授与の方法としては、博士学位の申請者が学位授与機関によって、規定された期間内に、学位授与機関に申請書と博士学位の学術論文等の資料を提出する。学位授与機関は申請締め切り後の2ヶ月以内に、審査を行ない、その申請を受理するかどうかを決定すると同時に、その結果を申請者に通知する。申請者はすべての博士学位課程の試験に合格した上で、博士学位論文の面接審査試験に参加することができる。科学研究または、専門技術において、重要な著作・発明・発見または学術的な発展を示した申請者は、学位授与機関に關係する証明資料を提出する。2名の教授または教授に相当する専門家によって推薦されれば、一部、または全部の学位課程試験が免除されることがある。博士学位論文またはその論文要約は、論文審査の3ヶ月前に、印刷して、關係機関に提

出ることとなっている。学位授与機関はその論文内容と関係する学科の専門家2名を招聘し、論文審査を行なう。2名の中に1名は当該機関以外の機関の専門家でなければならない。学位授与機関は関係学科専攻の博士学位論文専門審査委員会を組織しなければならない。博士学位論文の面接審査試験は一般的に、公開に行い、審査に合格した学位論文または、その一部分は公開発表をしなければならない。

博士大学院生教育の質を確保・向上させるために、今後、博士学生の教育課程の整備を促進し、カリキュラムを標準化しなければならない。博士課程大学院生教育においては専門性を広め、応用分野の広い博士課程の大学院生を養成し、学位論文の審査を含めた博士課程大学院生教育の管理を強化し、なお、弾力的な学制を実行することである。

2. 学位授与の学科種類及びその学科・専攻の目録

「中華人民共和国学位条例暫定実施方法」では、中国の学位は以下の10種類の学科目に基づいて授与することと規定されている。すなわち、哲学、経済学、法学、教育学、文学、歴史学、理学、工学、農学、医学が含まれている。1983年12月、国務院学位委員会は「軍事学」を増設することを決定した。

経済建設、社会発展の異なる種類、異なる規格の高級専門人材の需要に応じるため、国務院学位委員会は1990年、1992年と1995年において、経営学（MBA）硕士学位、建築学の学位（建築学学士学位と建築学硕士学位）と法律学硕士学位課程の設置を決定した。これらの専門分野の学位課程の設置は、中国の学位制度改革の重要な内容となり、応用的な高級人材の養成が推し進められた。

国務院学位委員会と国家教育委員会が国家建設と社会発展の短期・長期的需要および科学・文化と技術の発展状況の必要に基づき、「博士、硕士学位の授与及び大学院生養成の学科・専攻目録」を制定した。この目録は「国務院学位委員会学科評議組」（国務院学位委員会学科評議会）が学位授与権に関する資格を審査する時に、専攻の範囲を区分する根拠となる。同時に、学位授与機関も目録における各専攻の属する学科目録種類に基づき、相応な学位を授与する。大学院生を養成する大学、科学研究機関及び各関係主管部門はこの目録に参照して大学院生の養成計画を制定し、大学院学生の募集・養成を行う。「博士、硕士学位の授与及び大学院生養成の学科・専攻目録」には1級レベルの専攻が72種類、2級レベルの専攻が620種類ある。2級専攻の種類としては、哲学が9、経済学が27、法学が39、教育学が33、文学が44、歴史学が14、理学が86、工学が216、農学が47、医学が76、軍事学が29である。

大学院生の養成において、専門分野の内容を広め、学際的な学科と新興学科（新しく誕生した学問分野）の発展を進めるため、また学位授与機関の専攻構造を調整し、大学院卒業者が社会的需要によりよく応えさせるためには、国務院学位委員会第12回会議では「博士・硕士学位の授与及び大学院生養成の学科・専攻目録」を広めていく方向で調整することを決定した。現行の専攻目録を行政的に指定する形態から、次第に指導的に行なうように改革する。学科、専攻を広めていく手段としては、今後、学位授与権の資格を審査する際、その機関の一級レベルの専攻の全体水準と教師陣

のレベルに対する審査を強化することがあげられている。

3. 学位の管理機構とその役割

中国の学位システムが、国家・省（自治区・直轄市）及び国務院の関係官庁（部委）と学位授与機関の3段階管理としている。

「中華人民共和国学位条例」の規定に基づき、「国務院によって設置された学位委員会は、全国の学位授与業務を指導する」。国務院学位委員会のメンバー（国務院の関係責任者、全国著名な専門家・学者を含む）は国務院によって任免される。国務院学位委員会の主要な任務は全国の学位活動の方針、政策を制定し、国務院関係官庁（部委）の学位業務を協調することであり、学士・碩士・博士学位の授与機関、碩士・博士学位の授与学科・専攻および博士指導教師のリストを審議・認定することである。また、全国各段階の学位授与業務と学位授与業務の質的点検を指導し、定期的に会議を開き、重大な問題について討議し、業務の要点を決定することである。国務院学位委員会はその常設機関となる国務院学位委員会弁公室を設け、それについての管理を国家教育委員会に委託する。国務院学位委員会弁公室が国家教育委員会大学院生弁公室と共同で業務活動を行なうこととなっている。

国務院学位委員会の下に設置される56の学科評議組は、国務院学位委員会の指導の下での学術的な業務組織であり、そのメンバーは中国国内の各学科における学術水準が比較的高く、博士大学院生を指導できる学者、専門家によって、学科別で構成される。国務院学位委員会の学科評議組の主要な任務は、碩士・博士学位の授与権を申請する大学・科学研究機関・学科・専攻及び博士の指導資格申請者に対して審査を行なうこと、各学位授与機関の学位授与活動を指導し、検査・監督すること、学位授与の質を検査、点検評価し、学位を授与する学科・専攻の目録に関する修正意見を提言すること、「中華人民共和国学位条例」の規則・方法の制定と実施に協力すること、学位授与における争議などを審議し、関連する諮問活動を行なうことである。

省の人民政府の所轄地区の学位活動における統一的な計画・管理権を拡大するため、国務院学位委員会は1991年から、江蘇、四川、上海、陝西、湖北、広東などの6省市において、省の学位委員会の設置を認可した。国務院学位委員会第13回会議では、他の条件のよい省・市において、省の学位委員会の設置を次第に認可していく方針を決定した。省・自治区・直轄市人民政府が国務院学位委員会と協商し、認可をうけた上で、省の学位委員会を設置する。その主な職務は当該省・自治区・直轄市の学位活動を統一的に企画・管理することと、国務院学位委員会の委託を受け、学位授与権を審査し、学位授与業務の質に対する点検評価などの業務を行なうことである。

国務院の関係官庁及び学位委員会が設置されていない省・自治区・直轄市の学位授与業務はその高等教育主管部門の管理に委ねられる。

学位条例の規定に基づき、学位授与権をもっている大学あるいは科学研究機関では学位評定委員会を設置し、その機関の学位授与業務を指導する。学位評定委員会は学科別に若干の分科委員会を設置する。学位評定委員会の下に、弁公室を設け、その機関の学位授与業務の管理を実質的に行なう。

4. 学位授与資格の認定

1981年2月、「学位授与機関の認定に関する原則と方法」が、国務院学位委員会によって公布された。これは各段階の学位授与機関とその学科・専攻が学位を授与する条件を備えているか否かを審査する時の重要な根拠となる。ここでは、各段階の学位授与機関及び学位授与権をもつ学科・専攻が教師陣、カリキュラムの編成、科学研究の環境と管理システムなどにおいて、達成すべき基準を規定している。この規則では、学位授与権の資格の認定に関しては、基準を守らなければならない、条件を厳格にし、むしろ、控えめにとどめるべきで、多きをむさぼってはいけないことが規定されている。学位条例が実施されて以来、国務院学位委員会は碩士、博士学位授与権に関する審査を5回にわたって行ない、基本的に学科目が整備され、学位の質が基本的に確保された学位授与システムが形成された。現在のところ、全国では学士学位の授与権を有する普通大学は607校、碩士学位の授与権を有する機関は628ヶ所、碩士学位の授与権を有する学科と専攻は8,467ヶ所、博士学位の授与権を有する機関は271ヶ所、博士学位の授与権を有する学科と専攻は2,398ヶ所がある。

大学及びその学科・専攻が学士学位の授与権を申請する場合、当該大学の学術委員会の審議を経た上で、大学が主管部門に申請を提出し、主管部門が関係専攻の専門家を組織して審議・承認した上で、国家教育委員会と国務院学位委員会に報告し、認可を受ける。

大学・科学研究機関及びその学科、専攻の碩士学位の授与権については、その所属部門が主体的に審議したあと、国務院学位委員会の学科評議組が再審査を行なう。大学・科学研究機関及びその学科・専攻の博士学位の授与権と博士指導教師については、国務院学位委員会の学科評議組が主体的に審査を行なう。碩士・博士学位の授与権の審査の手順としては、一般的に、大学あるいは科学研究機関がその主管部門に申請を行ない、主管部門が審議・認可したあと、国務院の関係官庁の高等教育主管部門または国家教育委員会が専門家を組織して、その大学の所属部門と大学の類型に基づき、初審を行なう。そのあと、国務院学位委員会によって、組織された学科評議組が、再審を行ない、基準に達した大学、科学研究機関及びその学科、専攻のリストを国務院学位委員会に提出する。国務院学位委員会全体会議で上記のリストを審議・認可し、それを公表する。

社会発展と状況変化に伴い、近年、国務院学位委員会は学位授与権を審査する方法を改革した。1993年、国務院学位委員会第12回会議では、社会主義市場経済体制及び教育・科学技術体制に適應させるため、政府のマクロな調整の下で、学位授与機関が経済と社会発展の要請に応じる大学運営と主管部門が積極性を発揮できる学位授与権の審査体制を作り上げることを提言した。それを實現するためには、現行の学位授与権の審査方法を改革しなければならない。改革の目標としては、博士・碩士学位の授与機関と「博士学位点」（博士学位の学生を養成する部門）を新たに設置する場合には、従来通り国務院学位委員会が審査と認可を行なう。「碩士学位点」（碩士学位の学生を養成する部門）は地方政府、関係部門または、学位授与機関が統一的規定に基づいて、審査・認可する。博士学生の指導教師は学位授与機関が一定の基準と要求に基づいて自ら決定する。国務院学位委員会第13回会議では1995年の学位授与権の審査に関しては、碩士学位授与機関に新しく増設した「碩士学位授与点」の審査・認可は当該地区の省の学位委員会に権限を委託することを決定した。同時

に、博士指導教師の審査方法を改革し、1995年から国務院学位委員会は博士指導教師を単独で審査・認可をしないこととし、その代わりに、博士学位授与機関が自ら博士大学院生の募集・養成計画を制定すると同時に、博士指導教師を選定することとする。

5. 同等の学力を有する在職者による碩士、博士学位の申請

高級人材を多様な方法で養成するため、碩士、博士課程の教育を受けられなかった在職者に、碩士、博士学位を申請するチャンスを提供するため、1985年に国務院学位委員会は在職者が同等の学力によって、碩士・博士学位を申請する実験を行なった。この試行的実行経験に基づき、1990年に開かれた国務院学位委員会第9回会議では、「大学院卒業者と同等な学力を有する在職者に対する碩士、博士学位の授与に関する国務院学位委員会暫定規定」及びその実施細則が承認された。現在、在職者に対する碩士・博士学位の申請・授与権限をもつ学位授与機関はそれぞれ、167ヶ所と83ヶ所である。

「大学院卒業者と同等な学力を有する在職者に対する碩士、博士学位の授与に関する国務院学位委員会暫定規定」及びその実施細則に基づき、大学院卒業者と同等な学力を有する在職者が碩士、博士学位を取得するに当たって、「学位条例」及びその実施暫定方法によって定めた学術水準に達しなければならない。新規大学院卒業者の学位授与と同様に、授与基準を堅持し、質を保証しなければならない。在職者が同等の学力で碩士学位を申請する場合、通常、学士学位を取得した者でなければならない。その専門分野または、近い専門分野で3年以上就業し、職業において、一定の成果を挙げた者でなければならない。在職者が同等の学力で博士学位を申請する場合、通常、碩士学位を取得した者でなければならない。その専門分野または、近い専門分野で5年以上就業し、近年、全国または国際的刊行物で学術論文の発表、著書の出版または、技術分野において、創造的な貢献を行なった者でなければならない。暫定規定と実施細則では、さらに在職者が碩士、博士学位を申請するに当たって、提出しなければならない資料、申請の手続き、学位課程の試験などにかかる事項を規定している。

管理運営を規範化し、基準を確保し、質を保証するため、在職者が同等の学力で碩士、博士学位を申請する活動を堅実に発展させるため、1995年から、国務院学位委員会は同等の学力で碩士学位を申請する在職者に外国語の統一試験（その他の学位課程の試験は一律に在学している大学院生と同様な内容で同時に行なう）を課する予定である。国務院学位委員会及び省（自治区・直轄市）の学位業務を主管する部門は適切な方法をもって、試験の実行状況を検査、点検評価する。1995年1月、国務院学位委員会は「在職者が同等の学力で碩士学位を申請する工作をよりよく行なうための若干の問題に関する通知」を配布し、申請者の条件、学位の取得と授与の手続き、在職者の碩士学位の申請を受理する機関の認定などにかかる問題に関して、具体的な規定を定めた。

6. 学位の質に関する点検評価

1985年、国務院学位委員会によって、学位の質的検査と点検評価の試行的活動が行われた。試行

的実行経験に基づき、1991年から、国務院学位委員会は多様な手段で、この活動を組織的に推進している。国務院学位委員会は直接に組織し、または関係する主管部門との共同組織によって、一部の代表的な学科の博士、碩士学位授与機関に対して、検査と点検評価を行なった。なお、関係官庁に委託して、専門性の強い学科の博士・碩士の授与機関に対して、検査と点検評価を行った。さらに、汎用学科の碩士授与機関の検査と点検評価を省の学位委員会に委託して、実施した。

検査と点検評価の内容は指導教授と教師陣の状況、科学研究の水準、教育の質、管理水準、大学院卒業者の学位論文の水準などが含まれている。検査と点検評価の指標は国務院学位委員会弁公室によって独立に、または、関係部門と協議して制定される。点検評価の手順は通常、学位授与機関が点検評価の指標に照らして、自己点検評価を行なう。専門家によって作られた外部評価組織が、評価を受ける機関から提供された資料について、同じ領域の専門家で評価する。必要に応じて、専門家による実地調査を組織する。国務院学位委員会の関係学科評議組は検査・点検評価の結果について、審査・認定する。検査、点検評価の結果が国務院学位委員会または、点検評価権が預けられた部門によって、公表される。検査、点検評価の中で、発見された学位授与の質に悪影響を及ぼす問題のある学位授与機関に対して、期間付きの整理を要求する。関係規定の基準に達成できない学科と専攻分野に対して、その学位授与資格を停止または撤回する。

政府の機能を転換し、学位と大学院教育の質的検査、点検評価の組織活動と実施業務を次第に民間の事業体によって担われるために、1994年7月に、関係部門の認可をうけ、学位と大学院教育の質量を点検評価する専門機構「大学及び科学研究機関における学位及び大学院教育点検評価研究所」が北京で設立された。今後、国務院学位委員会は、主に、点検評価の方針、政策、業務を設定し、点検評価の結果を認定するが、点検評価活動の実施はこの「点検評価所」によって、行なわれることとする。

7. 名誉博士と国際交流

学位条例の規定では、国内外の卓越な学者または社会活動家に対して、学位授与機関から指名され、国務院学位委員会によって認可されることによって、名誉博士学位が授与できる。1989年2月、国務院学位委員会は「外国の関係人士に名誉博士学位の授与に関する暫定規定」を公布した。ここで、中国の名誉学位の定義、授与対象、要件、授与機関と主管部門、申請・認可手つづき及び授与活動について具体的に規定している。

この活動は1983年から行われて以来、今までに、22の大学と中国科学院、中国社会科学院が国務院学位委員会の認可をうけ、54名の中国本土以外の人士に名誉博士学位を授与した。彼らの中には、著名な学者、科学者もいれば、政治家や社会活動家もいる。

中国政府は、従来から世界各国との学位活動における国際交流と協力を重視し、国家、地区間の学歴、卒業資格、学位の相互認定を堅実に推進させようとしてきた。厳格な審査、点検評価、管理システムを制定・推進した結果、中国各段階の学位水準が比較的高く、国際的に比較的高い評価を受けている。1983年12月16日、アジア・太平洋地域の関係国がタイ国で「アジア・太平洋地域にお

ける高等教育学歴、卒業資格及び学位の相互認定に関する地域公約」を締結した。今日まで、各国の政府の承認を受け、12ヶ国がこの公約の締結国となり、中国はその締結国の一つであり、国務院学位委員会弁公室はこの公約の国家級の執行機関である。国務院学位委員会弁公室主任の王忠烈教授は中国政府を代表して、1990年2月、1992年11月及び1994年12月に、この公約の第1、第2、第3回執行委員会会議に出席し、第1回会議に当該委員会の第1副主席に当選し、第2、第3回会議で、当該委員会の主席に当選した。これ以外に、中国は7ヶ国との間に高等教育学歴、卒業資格、学位相互認定協議書を調印した。

「中国学位制度の現状と展望」について

黒羽 亮 一*

黒羽は1995年5月に北京大学高等教育科学研究所から招待を受けて訪中、同大学のほか華中理工大学（武漢）、華東師範大学（上海）の3大学で、最近の日本の大学改革の状況について報告してきたが、その間の5月3日午後、北京大学構内で國務院学位委員会弁公室主任・王忠烈氏と会談する機会があった。通訳は同時期にたまたま訪北京中だった苑復傑が行った。王氏はあらかじめ用意された原稿に準拠して話されることが多かった。そこで正確を期すためにその原稿の借用を希望したところ、さらに修正されたものが5月下旬に送られてきた。

会談のときに提供された王氏の経歴書によると、1958年から86年まで北京師範大学教授で、この間82年にオランダのユトレヒト大学で数学・物理学博士を取得している。1986年から山東大学副校長・教授を経て、1988年から現職にある。他に国家教育委員会研究生工作弁公室主任、北京大学博士指導教授など、教育・研究の両面で数多くの要職に就いている。その王氏の原稿なので、苑が翻訳して、ここに紹介する次第である。

またこの会談のときに、『中国学位10年、1980-1990』という報告書が提供された。そこに骨子が紹介されている中華人民共和国学位条例（1980年2月、5期全人代常務委13回会議採択）、同暫定実施規則（1981年5月、國務院公布）の全文は、中国の高等教育と学術の研究を専門とする大塚豊氏により紹介されている（広島大大学教育研究センター刊・高等教育研究叢書8号）。王氏の原稿は明快ではあるが、さらに以下のように、主としてこの2点の資料により、中国学位制度の現状について、若干の補足を試みた。

統計によると中国の高等教育機関は1065校あり、入学者は約92万人、総在学生は約253万人、卒業生は約57万人である（中国教育事業統計年鑑、1993年版）。しかし、このすべてで学士を取得できるわけではなく、王氏原稿によると607校である。

また上記報告書では1980年代から90年までに学士を授与された総数は約206万人である。王氏のいう約330万人との差は、その後の5年間の学士授与者数であろう。またこの206万人の分野別人数と比率は表1のようである。現在は「建築学」が加わっているが、分布状況は大きくは変わっていないものと見られる。

*学位授与機構教授・審査研究部長

表 1

	哲 学	経済学	法 学	教育学	文 学	歴史学	理 学	工 学	農 学	医 学	軍事学
学士(人)	26035	116503	59499	54023	195403	43168	338188	900337	126318	206080	1067
(%)	1.3	5.3	2.9	2.6	9.5	2.1	16.4	43.6	6.1	10.0	0.1
修士(人)	3481	8382	5437	2516	8714	4362	36377	80273	8620	20202	52
(%)	2.0	4.7	3.0	1.4	4.9	2.4	20.4	45.0	4.8	11.3	0.03
博士(人)	113	156	79	48	154	183	2101	2833	219	958	0
(%)	1.6	2.3	1.2	0.7	2.2	2.7	30.7	41.3	3.2	14.1	0

次に修士（中国では「碩士」と称しているが、便宜的に日本の呼称にした）を授与できる単位は1990年には586箇所であった。このうち「普通高等学校」と総称する大学は421箇所、「科研機構」と総称する国家教育委員会以外に所属する研究機関は165箇所であった。しかし、それらの機関はすべて修士を授与できるわけではなく、授与可能学科と專業点（研究所の部門）は個別に指定されて、その総数は王氏によると8467箇所である。1990年には7406で、分布は表2のようになっていたが、それが増えたほかに経済経営管理学と建築学が加わったわけである。しかし、分布状況は大きく変わっていないものとみられる。また修士を授与された総数は現在28万人になっているが、1990年までの約17万人の分布は表1のようであった。

表 2

	哲 学	経済学	法 学	教育学	文 学	歴史学	理 学	工 学	農 学	医 学	軍事学	計
修士授与権を持つ学科数	150	318	303	183	537	216	1442	2466	442	1293	56	7406
博士授与権を持つ学科数	38	97	56	33	103	72	492	743	113	370	—	2117

また、博士を授与できる機関は王氏によると271箇所だが、1990年には大学に199箇所、研究所に49箇所だった。これもそれらの大学・研究所のすべての部門で可能というのではなく、2117学科・事業点で、内訳は表2のようである。

博士課程生徒を指導したり、論文博士を授与できる教師は限られていてその数は1990年では5355人で、内訳は表2のようだった。このうち4085人は大学に、1270人は研究所に所属している。1990年のその分野別の人数は、

哲学88（人）、経済学208、法学102、教育学102、文学225、歴史学135、理学1564、工学1732、医学995だった。

これらの重点学科は、相当程度33の大学院大学に集中している（1990年）。33大学は以下のようである。

研究生院を設置した普通高等学校リスト

北京大	中国協和医科大	哈爾濱工業大	東南大	国防科技大
中国人民大	北京師範大	復旦大	浙江大	中山大
清華大	南開大	同濟大	中国科学技術大	西安交通大

北京航空航天大	天津大	上海交通大	厦門大	西安工業大
北京理工大	大連理工大	上海医科大	武漢大	
北京科技大	東北工学院	華東師範大	華中理工大	
北京農業大	吉林大	南京大	中国地質大	
北京医科大				

しかし、それ以外にも一部の分野について博士の出せる大学がかなりある。報告書から、アトランダムに2, 3ひろい出してみると以下のようだった。

民族学（中央民族学院）、蒙古語族語言文学（内蒙古大）、物理海洋学（山東海洋大）、航空宇航製造工程（西北工業大）、農業微生物学（華中農業大）、水産養殖（同）、農田水利工程（武漢水利電力学院）、病理生理学（湖南医科大）、薬理学（中国協和医大）、中医内科学（北京中医学院）

[ABSTRACT]

On "The Present Situation and Future Perspective of Degree System in P. R. China"

Ryoichi KUROHA*

On May 3rd, 1995, Dr. Wang Zhong-Lie, the director of the Academic Degree Committee of the State Council of the People's Republic of China and I had a talk on the existing circumstances of degree systems in Japan and the P. R. China. This session was held on the campus of Beijing University, P. R. China thanks to the interpretation by Ms. Yuan Fu-Jie, a research fellow of National Institute of Multimedia Education, who happened to be visiting Beijing.

In this session, Dr. Wang's talk about the status quo of degree system in P. R. China was mainly based on a manuscript which had been prepared in advance. The abstract of his manuscript is shown below.

On February 12, 1980, the 13th Plenary Session of the Standing Committee of the 5th National People's Congress formally adopted the Regulations of the People's Republic of China on Academic Degrees, which became effective from January 1981. This significant event in the history of Chinese education marks the beginning of academic degree system in New China.

In the past fifteen years a comprehensive system of authorization for conferring degrees in the fields of philosophy, economics, law (including politics, sociology and ethnology), education (including psychology and physical culture), literature (including linguistics and arts), history, natural science, engineering, agriculture, medicine and military science has been established in China. By the end of 1994, there were 607 tertiary institutions authorized to confer bachelor's degrees, in addition to 628 master's degree-conferring units, of which 421 are institutions of higher learning. There were over 8,000 master's degree programmes in various disciplines, 271 units have been authorized to confer doctoral degrees. There were more than 2,100 doctoral programmes in various disciplines, of which 1,700 are offered in institutions of higher learning.

A number of bases for training highly specialized professional personnel have been set up in China. These institutions serve as centers for both teaching and

*Professor and Dean of the Faculty, National Institution for Academic Degrees.

research, thus laying the foundation for a postgraduate education system with Chinese characteristics, which emphasizes all-round moral, intellectual and physical development. They have also trained a large number of specialized personnel in various fields for the country's modernization and socialist construction. By the end of 1994, nearly 3.3 million bachelor's, 280,000 master's and 18,000 doctoral degree holders have been produced, and most of them have played an important role in socialist construction. China can now rely on domestic efforts to train master's degree students in most disciplines. Proper conditions for training doctoral degree candidates in a considerable number of disciplines have also been created in domestic institutions.

With the experience of the past decade, an academic degrees system adapted to the realities of China, as well as the assessment and management mechanisms for quality control of various academic degrees have been established. Research and international exchanges and cooperation in postgraduate education have been actively carried out to ensure the quality of the degrees. Honorary doctoral degrees have also been awarded.

We need to summarize experiences, deepen reform, rely mostly on domestic efforts, and draw on the experience of other countries, for the improvement of the quality of post-graduate education and the perfection of the academic degree system. We shall continue to carry forward the spirit of respecting knowledge and talents, and train more high-level personnel with moral integrity and expertise for socialist modernization and construction. We shall make efforts to promote the development of various academic disciplines, and to further the development of education and research.

Prior to our talk on the degree systems, Dr. Wang gave me his personal history. According to that document, he had been a professor of Beijing Normal University from 1958 to 1986. In 1982, he took a doctoral degree in Mathematics/Physics from Utrecht University, Netherlands. From 1986, he had been vice president and professor of Shandong University. He has been in his present post in the Academic Degree Committee from 1988. He also holds much more responsible jobs both in education and research. In this article, I will publish the whole manuscript of Dr. Wang's. I believe this information from him will introduce the exact situation of the academic degrees in the P. R. China today.

I also made a commentary on his manuscript in this article to show the latest fact or statistics. This commentary is wholly based on the bulletin, "A decade of Academic Degrees Conferral in China 1980-1990" published by the Academic Degree Committee.

